

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

メダルを狙っていきたい



アテネ五輪・重量挙げ代表
山田 政晴さん(24)
泉沢町

代表選考を兼ねた、五月七日の重量挙げ全日本選手権・男子56級で優勝。同月三十日にアテネ五輪代表に選ばれた。「四年前のシドニー五輪代表に選ばれず、競技をやめようと思ったこともあったけれど、続

けていてよかった。中学生からの夢がかないました」荒砥中出身。前橋育英高から日本体育大に進み、現在は市内の警備会社に勤務している。「中学に入ったとき、ウエイトリフティング部の顧問の先生から入部を誘われました。練習に出てきたら、ラーメンやカツ丼を食べさせてくれるというのが、始めたのがきっかけです」全国中学校選手権大会優勝、全国高校総体優勝、全日本大学生選手権大会優勝と、輝かしい経歴。しかし、この四年間は苦しい日々が続いた。「腰や肩を痛め、記録の出ない

ときもありました。今年二月下旬から本格的に練習できるようになったんです。オリンピックでは自己記録を更新して、メダルを狙っていきます」重量挙げはギリシヤで人気のある種目。大きなスタジアムに多くの観客が集まるという。「世界選手権の経験はありませんが、五輪独特の雰囲気は分かりません。でも、特別なことは考えず、平常心で大会に臨むことが大切だと思います」小柄でがっしりした体形。天性の才能と苦難を乗り越えた精神力を発揮し、世界最高の舞台上で栄冠を勝ち取ってほしい。

文学通じて

きずな深く

天川町・林のぼる



待ちに待った文学碑巡りに、早朝から浮き浮きして、落ち着きませんでした。定刻より少し早めに、JR前橋駅南口に向かって小走りに出掛けました。参加者は三十三人。お互いに見知らぬ者同士でしたが、バス

が出発するころには次第に打ち解けて、口々に文学碑巡りの一日を喜び合いました。あいにく小雨交じりの曇り空でしたが、予定どおり進みましたが、前橋こども公園にある文学の小道に到着した時には、テレビのカメラマンと新聞記者がそこに待機していたので、びっくり。すっかり感激し、みんな手を取り合って喜びました。六月九日は、わたしに生涯忘れられない日となり、文学を通じた、人と人とのつながりが深い真情をつくると感じました。最後に自作の句を紹介します。朔太郎碑の 化石となりしかたつむり

まちのニュース



荒牧町

ソフトバレー 地区対抗で熱戦



荒牧町では六月二十七日、ソフトバレーボール大会を開催しました。今年で二十九回目。荒牧小体育館に五地区から十チームが参加し熱戦を展開しました。ソフトバレーは、ボールが大きく柔らかいので、けがの心配がなく親しみやすいスポーツ。ネットの高さも二メートルと低いいため、慣れてくると見事なブロックを決めたり、強烈なアタックを打ち込んだりする人も。柄沢利夫自治会長は、「ほかにソフトボール大会などスポーツに力を入れています。若い人から年配者まで、いい汗をかきながら親ばくを深める絶好の機会です」と話していました。